

2023年度 自己評価・施設関係者評価報告書

2024年 4月
認定こども園 北竜台ふたば文化

1. 園の教育・保育理念 教育・保育目標

～本園の教育・保育理念～
北竜台ふたば文化は子ども達の樂園です。
楽しくなければこども園ではない！
たくましく 大地に根をはれ ふたばっこ

～ 教育・保育目標 ～

- 1) 丈夫で元気な子
- 2) 自然に親しむ子
- 3) 友だちと仲良く遊べる子
- 4) よく考えて行動する子
- 5) 最後までがんばる子

未来に生きる子ども達に、健康な体とたくましい精神力、自主性と創造性のある生き方のできる基礎を培い、将来、手を繋ぎ合って平和な国際社会を創り上げていく人間に成長することを願っています。その為に自然の中で、子ども達が仲間と一緒に、伸び伸びと健康で明るく生活できる、より良い環境を作っていくことを心掛けています。

2. 本年度重点的に取り組む目標や計画

チャレンジ！ふたばっこ！～楽しい！を見つけよう～

子ども達一人ひとりが、新しいことにチャレンジし、たくさん楽しいことを見つけ、夢中になって遊べるように環境を設定し、ねらい、計画を立て、研究し、学期ごとに反省を行った。

まとめ

- ・内容や課題について担任間で話し合う時間を多く取ったことで、例年通りではなく保育者も子ども達と一緒にチャレンジして保育を楽しむことができた。
- ・ねらい、計画に沿って保育を行っていく中で、未満児はごっこ遊びを通して発語が活発になり、年中、年長児は同じ遊びを繰り返し楽しんだことで、なかなか遊びに入れなかった子も自分から参加できるようになった。
- ・戸外遊びでは、集団遊びを年間通して行ったことで、年下の子に対して気かけたり、年長児を中心にルールを考えて遊びを発展する姿も見ることができた。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	集計結果	評価
園の方針・教育理念の理解/保育の実践と振り返り	98%	A
職員として	94%	A
安全管理	88%	B
保護者対応	93%	A
地域・園外活動	40%	D
園庭（環境）・環境設定	93%	A
研修・研究	67%	C
総合	82%	B

※各項目にチェックを付けた人数を集計し各項目の割合を計算した。

90%以上A 80%以上B
60%以上C 40%以上D
40%未満E とし、評価を行った。

評価項目	取組内容	自己評価
園の方針・教育理念の理解/保育の実践と振り返り	・教育保育課程、理念の実現に向けた各種計画の作成。 ・今の子ども達の姿に応じた計画の作成。 ・記録を取り、学年やクラスごとに反省し課題を次につなげる。	・今年度も理念の実現に向けて、年間計画を作成し、そこから月間、週、日々の計画を作成し、日々の保育にあたった。 ・各学期ごとに、子ども達の様子や、遊びを振り返り、反省し、課題を見つけ出すことができた。その課題をすぐ次の保育に活かすことができた。 ・年間計画を見直し、今の子ども達の姿に応じた計画の作成を行うことができた。
安全管理	・総合的な安全計画と、避難リュックの見直し。 ・業務継続計画の作成。	・1月の能登半島の地震から、どの時間帯の避難が難しいのか、物資の面や、知識の面で足りていないものは何か、職員間で話し合った。その中で避難リュックの見直しや、保育者の人数が少ない時間帯や、代休日の避難方法も再検討した。 ・次年度の避難訓練に組み込み、実践し、その反省を安全計画等に再度反映させていく。 ・緊急時の連絡方法や、緊急時の連絡先のデータ化等も意見が上がり、2024年度から実施していく。
家庭との連携	・子ども達の様子の動画配信。 ・キッズビューの活用。 ・給食試食会の再開。 ・劇ごっこミニミニ発表会の開催。	・昨年度と同様に行事などのYouTube配信を行ってきたが、昨年度の反省を活かし、今年度は何を見せたいかポイントをしぼり、発信することができた。 ・キッズビューで手紙を配信するようになり、給食の様子等、園の様子を写真でも伝えることができた。 ・保護者が園に来て、子どもの様子を見たり園を知る場を増やすことができた。
園の活性化・園児募集に繋がる取り組み	・行事の在り方を再度話し、現在最も良い方法を職員間で話し合った。 ・保育の発信の方法を再度考え、最も良い方法を職員間で意見交換し、進めてきた。	・行事の内容を再度検討し、その行事ごとの一番大切なことは何かを話し合い進めてきた。 ・姉妹園の行事を見学に行き、良かった点を共有し、自園に活かすことができた。 ・運動会を制限なしで行うことができ、劇ごっこも保護者の方に直接見てもらう機会を設けることができた。ミルククラスでは、初めての親子参加型の行事も行うことができた。 ・次年度も、一つひとつの行事の在り方を丁寧に、ねらいをしっかりとって進めていく。 ・入園説明会では、2日とも平日に行い普段の保育の様子を見てもらうことができた。説明会に参加される保護者の方と、保育者が直接話し、疑問等もその場でやり取りでき良かった。

4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
園児募集、園の魅力の発信 プレ保育	プレ保育のスタートを早め、ポスターも新しく作成する。 プレ保育への参加者を増やすことで、園の保育や、様子を見てもらえる機会を増やし、園の魅力の発信に繋げていく。 ポスターを貼ってもらえる場所を引き続き探し、少しでも多く目に止めてもらえるよう工夫していく。
地域・園外活動（散歩） の充実	自己評価や、職員の反省から園外保育（散歩）に行く機会（意識）が弱かった。次年度は積極的に園外に行き、子ども達の体力の向上や、自然との関わり・興味関心も広げていきたい。その他にも、公共マナーを身に付けたり、地域の方との交流、散歩先（散歩中）の子ども達の姿を見てもらい、園の良さを発信できるよう努めていく。
研修・研究の充実	自己評価から、自分の得意分野の確立、能力の向上に向けた研修の参加や、研究が足りていなかった。 研修で得た知識を共有し合う場を設けたり、積極的に研修に参加できる環境を作っていく。 姉妹園の行事を見に行き、昨年度良い点を共有できているので、今年度も姉妹園の違う行事も見学に行き、活かしていきたい。

5. 2024年度努力目標

2024年度努力目標（スローガン）
おともだち大好き！ふたば大好き！！
子ども達が年齢の枠を超えて友達と関わり、お互い学び育ち合い、「おともだち大好き！そして、おともだちと一緒に過ごすふたばが大好き！！」と感じられるように、全職員でこのスローガンの達成に努めます。

6. 施設関係者評価員の評価

上記内容について、施設関係者評価員として2023年度父母の会 会長 副会長（2名）に評価を頂きました。

～園の方針・理念について～

- ・3年間で保護者側からは分からない部分があったので、このような目標で行っているということを保護者にも伝えていき理解を深めるのも良いのかなと思いました。
- ・教育保育理念にある『北竜台ふたば文化は子ども達の楽園です』との言葉通り、園生活から休みに入る時や、連休、長期休みに入る時も、早く幼稚園へ行きたいと話すほど、子ども達にとって楽しみでワクワクがいっぱいの楽園です。

～家庭との連携について～

- ・YouTube配信が年々増えていくことで、園での様子がたくさん見られることは素晴らしい事だと思います。
- ・保護者からの声に先生方が応えてくださり、給食の配信につながりました。子ども達の食べる量や、バランスなどを把握することができ、目安にもなるので助かります。
- ・お手紙をキッズビューにしたことで写真がカラーで見られて、以前と比べてより伝わりやすくなったと思います。一方、配信ではなく手紙を継続しても良いと思うものもあったのかなと感じます。

～行事について～

- ・コロナの制限が解除され、行事やお手伝いのボランティアで園へ足を運ぶ機会が増え、子ども達の様子を間近で見ることができるようになって嬉しいです。
- ・今年度は色々な行事を元通りにしていただいて、とても感謝しています。

- 運動会でお弁当を食べられたことがとても嬉しかったです。
なかなか祖父祖母とお弁当を食べる機会が運動会くらいしか無く、貴重な経験でした。
- 人数制限等の面でも先生方の配慮を感じられ、子ども達は勿論ですが保護者も十分楽しむ事ができたと思います。
- カレーの日は是非継続してほしいです。
- 今回再開した給食試食会は保護者や先生方にとって、お互いに情報共有することができるので可能な範囲で、続けて欲しい企画です。実際に試食してみて、分からなかった部分も理解することができて安心しました。

～日頃の保育について～

- 先生方の対応は素晴らしく、最高だと思います。何より、3年間楽しく過ごせる環境が素晴らしいと感じました。
- 日頃の保育では、子どもの主体性を大切にされ、のびのびと夢中になれるように見守ってくださっていると感じます。
- 先生方がいつも全力で子ども達と関わっていらっしゃるのを見ていて、感謝しています。
- 給食は、苦手な食材が食べられるようになったり、様々な野菜の形や旬の食材で子ども達に見て楽しい、食べて美味しい給食を作ってください、給食の先生方の工夫と愛情がたっぷり入っています。
- バスの運転手さんや送迎担当の先生方の笑顔と爽やかな挨拶で、いつも迎えてくださるので子どもを安心して送り出すことができます。
- 送迎の際に、一緒にいる家族（弟）にも声かけてくださり、先生方の心の温かさを感じます。

～その他～

- パンダバス側の出入り口に子ども達が出入りしにくい工夫がされていました。安全に子ども達が過ごせる環境の配慮を感じました。
- 父母の会からとしては、先生方からの父母の会への評価や意見をこういった形で今後取り入れていただけると今後の活動の参考になるのかなと思います。是非検討お願いします。

施設関係者評価員：2023年度 父母の会 会長 2023年度 父母の会 副会長

以上のような評価をいただきました。今回いただいた温かいお言葉を胸に、職員一同気持ちを一つにし、より良い園になる様、全力で努めてまいります。